

くすりのしおり

外用剤

2025年03月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名: オフミック点眼液

主成分: トロピカミド (Tropicamide)
フェニレフリン塩酸塩 (Phenylephrine hydrochloride)

剤形: 無色～微黄色澄明の点眼剤、5mL、(キャップ) 濃青色

シート記載など:



この薬の作用と効果について

副交感神経支配の筋肉に働いて目の緊張を緩和し、交感神経支配の筋肉に作用し収縮させることによって、散瞳させたり、ピントを調節する筋肉を休ませたりします。通常、虹彩炎などの目の中の炎症の治療や、ピント調節の改善に用いられます。眼底検査や屈折検査などにも用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。緑内障、狭隅角や浅前房などの眼圧上昇の素因がある、高血圧症、動脈硬化症、心臓疾患、糖尿病、甲状腺機能亢進症がある。コンタクトレンズを使っている。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（: 医療担当者記入）
- ・散瞳: 通常、1回1～2滴を点眼するか、または1回1滴を3～5分おきに2回点眼します。
- ・調節麻痺: 通常、1回1滴を3～5分おきに2～3回点眼します。
- ・いずれも、症状により適宜増減されます。必ず指示された点眼方法に従ってください。
- ・小児の場合、特に医師の指示を守って使用してください。
- ・容器の先端が直接目に触れないようにしてください。
- ・点眼後は、しばらく（1～5分間）まばたきをしないで目をつぶってください。
- ・点眼した時に液がまぶたなどについた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・他の目薬と併用するときは、少なくとも5分以上の間隔をあけて点眼してください。
- ・ソフトコンタクトレンズをつけている場合には、レンズを外してから点眼し、5～10分間の間隔をあけてからレンズをつけてください。
- ・点眼し忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く点眼してください。ただし、次に点眼する時間が近い場合は点眼しないで、次回より指示どおりに点眼してください。2回分を一度に点眼してはいけません。
- ・誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、点眼するのを止めないでください。

生活上の注意

- ・点眼後、まぶしく感じたり、物がぼやけて見えることがありますので、症状が回復するまでは、機械類の操作や自動車などの運転は行わないでください。まぶしく感じるときは、必要に応じてサングラスを着用してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、結膜炎（結膜充血・腫れ、めやに）、角膜上皮障害（眼痛、見えにくい、眼の異物感）、眼圧上昇（眼痛、見えにくい、頭痛）、眼瞼炎（まぶたのただれ・発赤・腫れ）、眼のかゆみ、皮膚のかゆみ、発疹、じんま疹、口渇、吐き気・嘔吐、顔面潮紅（顔が赤くなる）、頻脈、血圧上昇、頭痛などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・紅斑、呼吸困難、まぶたの腫れ [ショック、アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・開封後1ヶ月が経過し、薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。